

# 令和6年度 取手市の学校教育 一人一人の資質・能力を伸ばす学校教育の充実

取手市教育委員会

多様な価値観を認め、他者と協働してよりよく生きようとする道徳性の育成

- 学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の充実
- 児童生徒が主体的にいじめ防止にかかわる取組の充実
- 教員の指導力向上を図る道徳科の授業づくり研修の実施
- 教員の人権感覚・人権意識を高める研修の実施
- 専門性や豊かな経験をもつ地域人材の積極的な活用



自ら課題を見つけ、自ら学び、問題を解決しようとする児童生徒の育成

- 探究的な学びの充実を図るプレゼンテーションフォーラムの実施
- 持続可能な未来を創るサステナブル学習を実施し、児童生徒が探究的な学びを実践
- 「取手市学びのコンパス」を活用した児童生徒が主体的に学ぶ授業への改善
- A L T を効果的に活用した小中学校外国語科の円滑な接続



自立と社会参加に向けた特別支援教育の充実

- 「取手市相談記録ファイル」、「移行連絡シート」を活用した切れ目のない支援の実施
- ひらがなの習得に困難を抱えている児童生徒の早期発見及び早期対応を図る教員研修の実施
- 就学時健康診断で、ひらがな10文字読みスクリーニング検査を実施し、入学直後の学習から適切な支援を実施
- 特別支援学校のセンター機能による巡回相談の積極的な活用



健康教育の充実と食育の推進

- 学校の教育活動全体を通じた体育・スポーツ活動の充実と体力の向上
- 全国体力・運動能力調査の結果分析に基づいた体力アップ推進プランの改善・実践
- 栄養教諭や地域人材等の専門性を生かした食に関する学習の充実
- 給食の時間における食に関する学習の充実
- 食物アレルギーに対する教員研修の実施



子どもをまんなかにおいた教育活動・取手市独自の全員担任制/チーム指導・子どもに寄り添う教育相談

個々の児童生徒を支える教育の推進

- 児童生徒一人一人の状況を的確に見取るための「全員担任制（中学校）」「チーム指導（小学校）」を推進
- 児童生徒の悩み・不安等に対応するため「教育相談部会」を柱とした教育相談体制の強化
- 学校連携支援員、SSV、SC、SSWの配置、タブレット等からアクセスできる相談窓口の設置
- 校内サポートルームの設置、不登校対応支援員の配置

	令和5年度の実績値	令和6年度の目標値
先生はクラスを安心して過ごせる場にしてきていると答えた児童生徒（小5・中2）の割合	(小)89% (中)88%	(小)95% (中)95%
悩みごとや不安なことを相談できる先生がいると答えた児童生徒（小5・中2）の割合	(小)83% (中)81%	(小)90% (中)85%
先生は自分のよいところを認めてくれると答えた児童生徒（小5・中2）の割合	(小)94% (中)95%	(小)100% (中)100%
人が困っているときは、進んで助けていると答えた児童生徒（小6・中3）の割合	(小)83% (中)81%	(小)90% (中)90%
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うと答えた児童生徒（小6・中3）の割合	(小)94% (中)95%	(小)100% (中)100%
授業で、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していると答えた児童生徒（小6・中3）の割合	(小)62% (中)58%	(小)65% (中)65%
英検3級相当以上の英語力を有すると思われる中学校3年生の割合	63%	65%
児童生徒がICT機器を使って発表する機会を設けて指導していると答えた教員の割合	94%	95%
「個別的教育支援計画」等の資料を基に、個に応じた指導を行っていると答えた教員の割合	100%	100%
「取手市相談記録ファイル」を保護者との面談等に活用していると答えた教員の割合	100%	100%
学校外で週3日、各1時間程度の運動をしている児童生徒（小4・中2）の割合	(小)73% (中)65%	(小)80% (中)70%
自分の健康に関心をもち、規則正しく生活していると答えた児童生徒（小4・中2）の割合	(小)88% (中)79%	(小)90% (中)85%
給食を好き嫌いなく食べると答えた児童生徒（小4・中2）の割合	(小)78% (中)76%	(小)80% (中)80%